

月刊
JMITU

テレワーク

新型コロナ対応版



6月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2020年発行

No.426

東京都知事

選挙に行こう！

使えないマスクの支給、国民一人当たり10万円もなかなか支給されないと、今回の新型コロナウイルスの国の対応の悪さを誰しもが実感しているところではないでしょうか。

その上1億5千万円にもものぼる選挙資金を河合夫婦が2千万円使い地元有力者に配る買収容疑の選挙違反、黒川検察庁問題、森友、加計問題、余りにも国民を馬鹿にした政治がまかり通っています。

なぜこんな腐った政治がまかり通ってしまったているのか、一番は国民の政治への無関心、選挙投票に行かないこと、投票率が半分もいかない選挙で決められたものなので民意

がなかなか反映されず、議員が税金を自分たちの利権の為だけに、使用し国民の事などないがしろにしているのが、今回のコロナ対策を見てすべてが、露呈しました。

一方東京都はどうだったでしょう？毎日のようにテレビで小池都知事から横文字のかっこいい言い回しで報告がなされていました。

知事は一見何かしているように見えますが何かしたのだろうか？PCR検査が遅れているなかで何か対応をしたのか？病院が逼迫しているなかでどうしたのか？パチンコや夜の街が槍玉に挙げられていたが、通勤電車の蜜については何も指摘しない。前回選挙での公約はどうだったのか？「満員電車ゼロ」の公約は守られたのだろうか？

「築地は守る豊洲は生かす。」と言っていたが豊洲に強行移転している。

とにかく民意を反映させる為にも、各候補者の公約、今までの経歴など自分の意見に、近い人に投票しにいかなくてはいつまで経っても私達の暮らしは良くなりません。都民の方投票に行きましょう。

コロナ問題の中

軍事力が必要なのか？

コロナの影響で、バタバタと潰れていく会社や、コロナを理由に解雇、給料減額などあちこちでかなりの影響が出ています、

一方で軍事費は桁違いに年々上がってきています。今月、防衛大臣より「イージス・アシオア」の配備が中止さ

れました。ブースターと呼ばれる部分が自衛隊の基地内に確実に落とせない、このイージス2基で1605億円、設備含めると1兆円規模になると言われています。

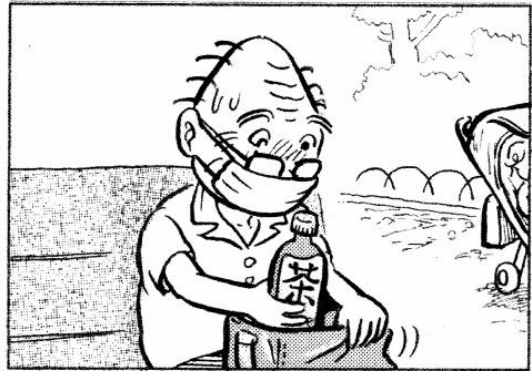
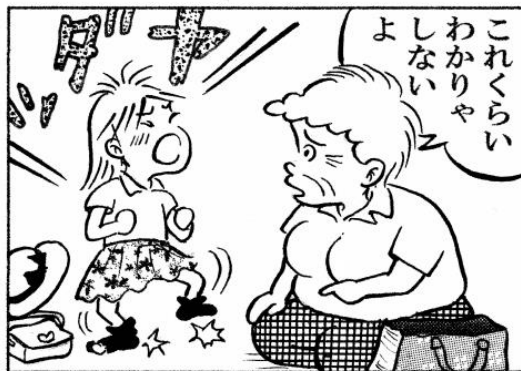
いま私達が恐れているのは、他国からの攻撃とかではなく、コロナの第2次感染をどう防ぐか、これだけのお金があるのなら、自衛を要請する際もっと保障ができたのではないか、潰れなくてすんだ会社ももっとあったのではないか。

今後70%の確立で来るといわれている関東地方での地震に向けてもっと対応ができるのではないか。税金の使い方が間違っています。

これを変えるのは政治を変えるしかありません。政治を変えるには選挙にいつて投票するしかありません。

4こま漫画

川崎よしき



シヨートシヨート

ポケ防止

仙洞田一彦

「高輪ゲートウェイ」と、聞こえると脳が反応する。

——田町ゲートウェイ、浜松町ゲートウェイ、新橋ゲートウェイ……有楽町アラート、東京アラート……神田ソーシヤルディスプレイ……秋葉原パндеミック……違和感があるが虎の門ゲートウェイ……アメリカ言いなりだから、漢字とカタカナがくっついていてもしようがないか……昔、ホームステイというのは聞いたことがあったけど、最近は一ひっくり返してステイホームというらしい……

とにかく脳を動かした方がいい……らしい。思いつくま

まに言葉を並べたり、くっつけたりしてみる。

東京アラートが解除されて、電車の乗客が増えたような感じがする。車両の端の優先席が空いていたので、そこに座った。三人掛けのところに、私ともう一人、一つ席を空けて二人腰掛けている。テレビを見ていて、知らず知らずのうちに恐怖心を植え付けられているので、隣の席が埋まらなければいいと考えている。とはいえ、実際に亡くなっていく人がいるらしいから恐怖した方がいい。というか、恐怖している。毎朝コーヒードrink、ああ、今朝も味が分かるから、今日一日は無事のようだと思う。二週間後、無事でいられるのだろうかと考え。二週間後どころか、明日

熱が出るかも知れない。

電車が御徒町ゲートウェイに着いたとき、よぼよぼの爺が乗って来たというか、私と同じくらいか、やや年上の男が乗って来た。背広姿だが、おそらくまだ体に肉がついていたころ仕立てたものだろう、いまは痩せて、背広はだぶだぶだった。白髪で、背は低く、倒れ込むように、私の隣りの空席に座った。

少しの間肩で呼吸していた。呼吸が落ち着くと、眼鏡を掛け、背広のポケットからゲーム機らしきものを取り出した。真ん中に小さな画面があり、左右にボタンがついている。間違いないゲーム機だ。

電車に乗ると本を開き、クロスワードパズルのようなものを始める年寄りは見かける。

ポケ防止のためらしい。あれでポケ防止ができれば、安いもんだと思いつながら、ちらりと見ている。隣の年寄りは違うというか、ポケ防止の手段が違うというべきか。聞いてみなければ分からない。

ゲームが始まった。ボタンを押す時だろう、指ばかりでなく肩が動く。しかも右のボタンを押す時は、右の肩が前に出る。だから肩の体操をやっているようだ。右が出たり、左肩が出たり。肩の上げ下げもある。

私も小柄だし、隣も小柄だから、身体が当たることはない。しかし、うるさい。少し経つと、

「えい」
「おう」
「ほら」

と、声が出てきた。小さい声だが、気になり始めると煩わしい。同輩のたのしみを邪魔しては悪いから、我慢している。ボケ防止ばかりか体操にもなっている。

「これはね、ボケ防止にいいんですよ」

私の腹を読んだのか、その爺が独り言のように言った。しかし軽々しく返事をするのではない。私は我慢してやっているのだ。

「これやっているとボケないですよ」

また言った。私は腹のなかで言った。

《もうボケてるから、やっているんだらう。もうボケてる証拠だよ》

無論表情は動かさないし、態度は無関心を装っていた。

「お、お、お……しかし、生きていてもロクなことはない。すべて忘れて、ゲームに熱中している方がいい」

爺は、ゲーム機を前に出したり、上に上げたりし、視線は画面から放さずに言った。同年配のせいか、出てくる言葉は、私の考えていることと似ている。

「ボケ防止というよりは、ボケちゃった方がいいですね。ハハハ……もうね、世間のことはいい。どっちでもいい。どうにでもなれですよ」

声になっていない私の内なる言葉に、なんとなく答えているようだ。黙ったまま爺の顔を見た。無論爺の視線は画面に張り付いている。

《たしかに、ロクなことないから、世間のことを忘れた方

が、元気で長生きできるかもしれない。でもね、子供や孫のことを考えたら、忘れるわけにもいかないよ。子が失業したら、孫が飢える。無関心じゃられないよ。一切忘れてゲームに熱中しているアンタがうらやましい》

「そんなことないよ」

爺が否定した。私は思わず声を発した。

「えっ」

続けて声に出して言った。「ゲームしながら、私の腹の内が分かるんだから、ボケてないですよ。たいしたもんだ」

「えっ」

今度は爺が、何かに気づいたように言って、手を止めてはじめて私を見た。そして私に聞いた。

「何か、言っていましたか。」

わたし」

無意識だったのか。やばいと思ったので否定した。

「いいえ、何も、言っていない」

「なら、いいです」

言うなり、爺は電車を降りた。電車は日暮里アラートに着いていた。三人掛けから二人降りて私一人になった。代わりに、二十歳前後の男が乗って来た。優先席だが、私の隣、一つ空けて腰掛けた。爺が降りて、孫が入れ替わりに座った感じだ。その孫は乗るときから、ゲームの画面に目が張り付いていた。

「ほっ、ほっ」

と、声を出しながら、身体を揺すっていたが、いまのところ私に語りかけてくる様子はなかった。